

張り地のお手入れについて

カバーの脱着

当社製品の中には、「カバーリングシステム」を採用している製品があります。このシステムにより、ご家庭で簡単にカバーを取りはずして、ドライクリーニングができるようになっております。カバーのはずし方や取り付け方は、製品によって異なりますので、組み立て説明書内の「カバーリング方法」に従って、お取り扱いください。

ワンポイント

カバーをはずす場合は、無理に引っ張り、ファスナー部を破損しないように、十分ご注意ください。

クリーニングについて

- カバーは洗濯表示に従い、必ず専門店の「ドライクリーニング」をご指定ください。水洗いは、生地縮みや色あせの原因となりますので、おやめください。
- 液体汚れや汗などのタンパク質の汚れは、長く放置すると、クリーニング後に色落ちの原因となりますのでご注意ください。
- カバーをより快適に長い期間お使いいただけるよう、年に1回程度のクリーニングをお勧めします。
- クリーニング後にカバーが若干縮むことがあります（最大で3%）その場合は、少しずつ伸ばしながら、カバーを直すようにしてください。

ファブリック（布張り地）

1. 普段のお手入れは、ブラシや掃除機（弱）などを使って、ホコリを取り除いてください。
2. コーヒーやジュースなどの汚れは、布などですばやく吸い取ってください。汚れが残った場合は、直ちに若干量の中性洗剤を混ぜた（3%～5%位）ぬるめのお湯に柔らかい布を浸し、軽く絞ってからたたきようにして拭いてください。次に水をかたく絞った布で、残った洗剤をよく拭き取ってください。その際、汚れた部分だけでなく周囲もまんべんなく拭いてください。最後になるべく風通しの良い日陰で乾かしてください。
3. サラダ油や油性ボールペンなどの油汚れが付いた場合は、直ちに最寄のクリーニング店にご相談ください。
4. 市販のクリーナーを使用する場合は、説明書をよく読み、予め目立たないところで試してからお使いください。
5. 紫外線（直射日光など）や赤外線（スポットライトなど）が長期間あたると、変色する場合があります。特に濃い色のファブリックはカーテンなどで直射日光を避けるか、通気性を考慮しながら、布などを掛け、表面を保護してください。

ワンポイント

張り地が汚れやすい環境（乳幼児による使用など）や、汗や水分が直接付きやすい場合は、予めクリーニング店で「撥水加工」を施すか、市販の撥水加工剤のご使用をお勧めします。なお、市販の撥水加工剤をお使いの際は説明書を良く読み、予め目立たないところでお試しの上お使いください。

合成皮革

1. 普段のお手入れは、柔らかい布で軽くから拭きしてください。
2. コーヒーやジュースなどの汚れは、若干量の中性洗剤を混ぜた(3%~5%位)ぬるめのお湯に柔らかい布を浸し、軽く絞ってから拭いてください。次に、水をかたく絞った布で、残った洗剤をよく拭き取ってください。また市販のクリーナーを使用する場合は、説明書をよく読み、予め目立たないところで試してからお使いください。
3. 紫外線(直射日光など)や赤外線(スポットライトなど)が長期間あたると、変色する場合があります。特に濃い色の合成皮革はカーテンなどで直射日光を避けるか、通気性を考慮しながら布などを掛け、表面を保護してください。

本革/本革テープ

1. 普段のお手入れは、柔らかい布で、から拭きしてください。
2. 本革(牛革・水牛革)テープを編みこんだ表面は、編み目にチリ・ホコリやゴミが溜まりやすいので、月に1回ほど柔らかいブラシや掃除機(弱)で取り除いてください。
放置しておきますと、汚れが内部に付着し、取り除くことが困難になりますのでご注意ください。
3. レザークリーナーおよびレザークリームの使用について
 - 牛革
年に2~4回ほど、市販のレザークリームを使って表面の油分を補給してください。
また市販のレザークリーナーやレザークリームをご使用になる場合は、説明書をよく読み、予め目立たないところで試してからお使いください。
 - 牛革テープ/水牛革テープ
牛革テープおよび水牛革テープの表面には、革のツヤ出しと保護のために、予め薄い塗装が施されています。
レザークリーナーやレザークリームを使用すると、若干色落ちする場合がありますのでご注意ください。また編み目に残った液剤を放置しておきますと、衣類が汚れたり、編み目にチリ・ホコリが付着しますので、よく拭き取ってください。
4. コーヒーやジュースなどの汚れは、放置するとシミになり易いので、乾いた布で直ちに表面の水分を吸い取ってから、若干量の中性洗剤を混ぜた(3%~5%位)ぬるめのお湯に柔らかい布を浸し、軽く絞ってから汚れた表面を拭いてください。次に水をかたく絞った布で洗剤をよく拭き取ってください。
5. 紫外線(直射日光など)や赤外線(スポットライトなど)が長期間あたると、変色する場合があります。
カーテンなどで直射日光を避けるか、通気性を考慮しながら、布などを掛け、表面を保護してください。
6. 革は呼吸をしており、乾燥にとっても敏感です。革の割れ、継ぎ目の切れを引き起こしますので、エアコンやストーブなどの極端な乾燥を避けてご使用ください。

ワンポイント

- 革には成長段階でつけたキズ・シワ・模様・色の濃淡の違いなどが含まれる場合があります。ご了承ください。
- 革を編んだ製品から音が生じる場合があります。これは革どうしが擦れる際に発生するもので、コシの強い厚革の特性です。